



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月14日

上場会社名 株式会社 ハークスレイ  
 コード番号 7561 URL <http://www.hurxley.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役  
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東大

(氏名) 青木 達也  
 (氏名) 佐子 弘和  
 配当支払開始予定日

TEL 06-6376-8088  
 平成23年12月1日

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	27,653	△7.8	427	386.2	687	88.8	307	762.6
23年3月期第2四半期	30,001	△12.8	88	—	364	—	35	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 295百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △89百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	30.79	—
23年3月期第2四半期	3.57	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	44,416	15,466	34.5	1,535.13
23年3月期	45,212	15,303	33.6	1,519.87

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 15,328百万円 23年3月期 15,176百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	6.00	—	12.00	18.00
24年3月期	—	14.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	56,950	△3.8	1,360	282.0	1,680	128.5	940	56.5	94.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	11,025,032 株	23年3月期	11,025,032 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	1,039,637 株	23年3月期	1,039,637 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	9,985,395 株	23年3月期2Q	9,985,429 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく、四半期財務諸表のレビュー手続は終了いたしております。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在で入手可能な情報に基づいて作成されており、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
(4) 追加情報 .....	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	4
4. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	11
(5) セグメント情報等 .....	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	13
(7) 重要な後発事象 .....	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興に向けた企業活動等により、回復傾向が見受けられるものの、欧州債務危機に加え、米国経済の減速懸念などにより、経済情勢の先行き不安から過度な円高の進行等を招くなど、依然として厳しい状況が続いております。

当社グループが属する「食」の業界では、提供食材の衛生管理や放射能問題等により、「食の安全」について、安全性への取組みがクローズアップされております。また依然として、高い生活防衛意識による低価格志向は根強く、「安全性」と「低価格志向」が消費者の判断基準となっております。

このような環境のもと当社グループにおいて、持ち帰り弁当事業では、徹底した衛生管理、品質管理のさらなる強化とともに、お客様の信頼と満足度の向上を図るため、サービス体制、商品開発、キャンペーン企画など、お客様のニーズを重視した施策を行ってまいりました。

店舗委託事業では、立地・業態・投資コスト・流動性等をより重視した店舗開発とこれまでの出店実績と経験を活かし、より立地と業態にフォーカスし、繁盛店を1店でも多く増やすこと及び未稼働店舗の圧縮を推進してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高276億53百万円（対前年同期比7.8%減）、営業利益4億27百万円（対前年同期比386.2%増）、経常利益6億87百万円（対前年同期比88.8%増）、四半期純利益3億7百万円（対前年同期比762.6%増）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりです。

#### ①持ち帰り弁当事業

創業時より食の安全・安心を第一に、長年に亘りご好評をいただいております定番食品の磨き上げを行うとともに、お値打ち価格による期間限定メニューの提供など、お客様の多様なニーズに応える商品開発を行ってまいりました。また、映画「NARUTO」とタイアップした販促企画等を実施し、顧客層の拡大に向けた積極的な展開を行っております。

この結果、持ち帰り弁当事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は126億57百万円（対前年同期比7.7%減）、営業利益は9億71百万円（対前年同期比29.1%増）となりました。

#### ②店舗委託事業

外食業界におきましては、消費者の節約志向が依然強く、低価格化による顧客獲得指向が高まるなど、企業間競争が一層激しさを増しており、業務委託先の収益にも大きな影響を与えることとなったものの、きめ細かな営業展開により、業務委託先との中途契約解除は前年同期と比べ減少し、新たな業務委託先との契約を締結するまでの家賃負担等の費用も前年同期と比べて減少いたしました。

この結果、店舗委託事業の当第2四半期連結累計期間売上高は113億28百万円（対前年同期比9.6%減）、営業損失は1億4百万円（前年同期は営業損失3億14百万円）となりました。

#### ③店舗管理事業

店舗管理事業におきましては、不動産市況に一部底打ちの兆しが見られたものの依然厳しい環境が続く中、当社グループの持つ情報網を駆使し高い入居率を維持することにより、収益を確保することができました。

この結果、店舗管理事業の当第2四半期連結累計期間売上高は3億5百万円（対前年同期比9.0%増）、営業利益は1億5百万円（対前年同期比3.6%増）となりました。

#### ④店舗直営事業

店舗直営事業におきましては、寿司チェーン店（びっくり寿司）等では食材・衛生面の安全強化、新規顧客獲得、リピーター増加施策を推進してまいりましたが、不採算店舗の閉鎖による売上高の減少、東日本大震災後の消費マインドの変化等により売上高・営業利益とも前年同期に比して売上・利益ともに減少いたしました。

この結果、店舗直営事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は17億25百万円（対前年同期比27.4%減）、営業損失は1億65百万円（前年同期は営業損失18百万円）となりました。

#### ⑤その他

フレッシュ・ベーカリー事業につきましては、小麦の価格高騰はあるものの、企業努力により、商品価値の向上とお客様のニーズを第一に商品開発に努めております。期間限定のカレー（パン）フェアとして新商品「エッグカレー」、「牛スジカレー」の発売や新商品の発売時期を月2回に分けて実施するなどの新たな取組みを行い、好評をいただいております。

店舗総合サービス事業につきましては、既存の与信管理に特化しております。

なお、第1四半期連結累計期間より、レストラン事業を主とする「榊ハーツgrantフードサービス」を新たに連結の範囲に含めており、「その他」の区分にレストラン事業を含めております。

この結果、その他の事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は16億36百万円（対前年同期比48.2%増）、営業利益は5百万円（対前年同期比81.9%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ7億95百万円減少し、444億16百万円となりました。主な要因としましては、主力商品の価格動向を鑑み、政策的な仕入を行ったため、流動資産における商品及び製品が4億32百万円増加いたしましたが、固定資産において、建物及び構築物が6億18百万円、敷金及び保証金が4億41百万円それぞれ減少したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ9億58百万円減少し、289億50百万円となりました。主な要因としましては、買掛金が上記政策に伴い3億41百万円増加いたしましたが、未払金が6億36百万円、1年内返済予定長期借入金が9億90百万円それぞれ減少となりました。

少数株主持分を含めた純資産は、前連結会計年度末に比べ1億63百万円増加し154億66百万円となりました。

1株当たり純資産は、前連結会計年度末に比べ15.26円増加し1,535.13円となり、自己資本比率は前連結会計年度末の33.6%から0.9ポイント上昇し34.5%となりました。

(連結キャッシュ・フローの状況に関する定性的情報)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前第2四半期連結累計期間末と比べ、6億84百万円減少し、また前連結会計年度末と比べ、1億円増加して61億48百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は、11億63百万円(前年同期は15億81百万円の獲得)となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益の増加6億36百万円、売上債権の減少による収入1億78百万円、仕入債務の増加による収入3億40百万円などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は2億12百万円(前年同期は3億64百万円の獲得)となりました。これは主に、有形固定資産の売却による収入2億8百万円、差入保証金の純増額による収入1億36百万円の獲得および関係会社株式の取得による支出5億72百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は8億62百万円(前年同期は20億47百万円の支出)となりました。これは主に、長期借入れによる収入60億30百万円の獲得および長期借入金の返済による支出65億53百万円、配当金の支払による支出1億21百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結業績は想定した範囲内の実績であり、平成24年3月期通期の連結業績予想につきましては、平成23年5月13日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

(4) 追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,048,507	6,149,251
受取手形及び売掛金	2,815,217	2,624,029
商品及び製品	655,854	1,088,461
原材料及び貯蔵品	124,400	123,956
繰延税金資産	149,693	125,629
その他	1,462,349	1,470,806
貸倒引当金	△146,632	△126,068
流動資産合計	11,109,390	11,456,065
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,837,464	9,218,843
機械装置及び運搬具（純額）	90,884	113,401
工具、器具及び備品（純額）	842,433	718,204
土地	12,256,908	12,256,908
リース資産（純額）	168,211	200,029
建設仮勘定	7,000	7,000
有形固定資産合計	23,202,902	22,514,386
無形固定資産		
のれん	338,049	312,216
その他	224,947	209,392
無形固定資産合計	562,997	521,609
投資その他の資産		
投資有価証券	1,781,210	1,749,481
長期貸付金	279,841	379,360
敷金及び保証金	6,643,998	6,202,338
繰延税金資産	99,643	101,737
その他	3,587,557	3,482,403
貸倒引当金	△2,055,235	△1,990,822
投資その他の資産合計	10,337,016	9,924,499
固定資産合計	34,102,915	32,960,495
資産合計	45,212,306	44,416,561

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,645,294	2,986,371
短期借入金	3,230,600	3,179,100
1年内返済予定の長期借入金	4,166,383	3,176,189
未払金	1,992,182	1,355,891
未払法人税等	437,626	307,735
未払消費税等	155,366	76,066
賞与引当金	162,806	168,915
その他	1,862,262	2,035,321
流動負債合計	14,652,521	13,285,591
固定負債		
社債	162,500	145,000
長期借入金	9,154,182	9,620,458
退職給付引当金	43,287	44,355
負ののれん	1,232,163	1,064,507
長期預り保証金	3,324,427	3,433,324
繰延税金負債	415,736	422,502
資産除去債務	361,353	342,202
その他	562,864	592,144
固定負債合計	15,256,513	15,664,494
負債合計	29,909,035	28,950,085
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,036,649	4,036,649
資本剰余金	3,930,816	3,930,816
利益剰余金	8,714,838	8,890,241
自己株式	△1,515,070	△1,515,070
株主資本合計	15,167,234	15,342,637
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,230	△13,754
その他の包括利益累計額合計	9,230	△13,754
少数株主持分	126,806	137,593
純資産合計	15,303,271	15,466,475
負債純資産合計	45,212,306	44,416,561



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	30,001,444	27,653,921
売上原価	22,797,948	21,035,032
売上総利益	7,203,495	6,618,889
販売費及び一般管理費	7,115,483	6,190,985
営業利益	88,012	427,904
営業外収益		
受取利息	21,406	15,388
受取配当金	5,044	3,445
受取賃貸料	127,346	90,391
負ののれん償却額	167,655	167,655
業務委託契約解約益	108,956	154,652
持分法による投資利益	9,336	12,708
その他	209,507	133,014
営業外収益合計	649,254	577,257
営業外費用		
支払利息	141,179	120,288
賃貸費用	41,337	36,538
業務委託契約解約損	97,920	81,057
訴訟費用	55,295	27,185
その他	37,226	52,239
営業外費用合計	372,958	317,310
経常利益	364,307	687,850
特別利益		
固定資産売却益	29,428	25,310
貸倒引当金戻入額	1,953	—
新株予約権戻入益	238	—
特別利益合計	31,620	25,310
特別損失		
固定資産除却損	21,532	56,115
投資有価証券評価損	147,001	—
店舗撤退損失	—	20,208
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	122,014	—
特別損失合計	290,548	76,323
税金等調整前四半期純利益	105,379	636,837
法人税、住民税及び事業税	335,538	285,733
法人税等調整額	△152,059	32,883
法人税等合計	183,478	318,616
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△78,098	318,220
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△113,738	10,786
四半期純利益	35,640	307,433

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	△78,098	318,220
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△10,899	△19,742
持分法適用会社に対する持分相当額	△531	△3,243
その他の包括利益合計	△11,431	△22,985
四半期包括利益	△89,529	295,234
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	22,373	284,448
少数株主に係る四半期包括利益	△111,902	10,786

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	105,379	636,837
減価償却費	961,182	785,318
負ののれん償却額	△119,549	△128,850
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	122,014	—
固定資産売却損益 (△は益)	△29,423	△25,310
固定資産除却損	21,532	56,115
店舗撤退損失	—	20,208
投資有価証券評価損益 (△は益)	147,001	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	135,953	△84,977
賞与引当金の増減額 (△は減少)	11,398	6,109
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△6,871	1,068
受取利息及び受取配当金	△26,451	△18,834
支払利息	141,484	120,288
持分法による投資損益 (△は益)	△9,336	△12,708
売上債権の増減額 (△は増加)	167,553	178,860
たな卸資産の増減額 (△は増加)	85,117	△430,171
仕入債務の増減額 (△は減少)	△196,724	340,630
未払消費税等の増減額 (△は減少)	14,510	△79,299
その他	318,707	151,314
小計	1,843,477	1,516,600
法人税等の支払額	△267,730	△409,298
法人税等の還付額	5,258	56,231
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,581,005	1,163,533
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
利息及び配当金の受取額	27,213	19,570
定期預金の払戻による収入	100,000	—
有形固定資産の取得による支出	△476,718	△186,384
有形固定資産の売却による収入	131,396	208,054
有形固定資産の除却による支出	△9,205	△23,839
無形固定資産の取得による支出	△26,759	△18,708
無形固定資産の売却による収入	51,829	132
投資有価証券の取得による支出	△25,004	△25,000
投資有価証券の売却による収入	2,673	—
投資有価証券の償還による収入	500,000	—
関係会社株式の取得による支出	—	△572,114
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	4,676	△17,701
長期貸付けによる支出	△1,854	△161,619
長期貸付金の回収による収入	20,209	67,896
差入保証金の純増減額 (△は増加)	207,479	136,866
その他	△141,168	360,638
投資活動によるキャッシュ・フロー	364,766	△212,209

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
利息の支払額	△120,564	△94,904
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△77,400	△51,500
長期借入れによる収入	1,480,000	6,030,000
長期借入金の返済による支出	△3,018,626	△6,553,918
社債の償還による支出	△77,500	△17,500
自己株式の売却による収入	46	—
自己株式の取得による支出	△17	—
配当金の支払額	△199,843	△121,035
リース債務の返済による支出	△24,995	△24,637
その他	△8,502	△28,724
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,047,403	△862,220
現金及び現金同等物に係る換算差額	△321	△253
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△101,951	88,849
現金及び現金同等物の期首残高	6,934,800	6,047,496
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	11,893
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,832,849	6,148,238

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				
	持ち帰り 弁当事業	店舗委託事業	店舗管理事業	店舗直営事業	計
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	13,713,331	12,525,354	280,660	2,378,036	28,897,382
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	242,355	2,047,145	25,084	3,176	2,317,761
計	13,955,687	14,572,499	305,744	2,381,212	31,215,144
セグメント利益又は損失(△)	752,522	△314,418	102,062	△18,904	521,261

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益計算書 計上額(注) 3
売上高				
(1) 外部顧客に対する売上高	1,104,061	30,001,444	—	30,001,444
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,587,316	3,905,078	△3,905,078	—
計	2,691,378	33,906,522	△3,905,078	30,001,444
セグメント利益又は損失(△)	29,147	550,409	△462,397	88,012

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに帰属しない事業セグメントであり、物流事業、フレッシュ・ベーカリー事業、店舗総合サービス事業等を含んでおります。なお、当第2四半期連結累計期間において、資産管理事業を廃止することを決議しております。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△462,397千円には、セグメント間取引消去△1,056,416千円、各報告セグメントには配分していない全社費用594,019千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社である当社管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				
	持ち帰り 弁当事業	店舗委託事業	店舗管理事業	店舗直営事業	計
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	12,657,216	11,328,678	305,788	1,725,903	26,017,587
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	252,349	1,470,495	—	3,808	1,726,653
計	12,909,565	12,799,174	305,788	1,729,711	27,744,241
セグメント利益又は損失(△)	971,410	△104,858	105,776	△165,595	806,732

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益計算書 計上額(注) 3
売上高				
(1) 外部顧客に対する売上高	1,636,334	27,653,921	—	27,653,921
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,839,240	3,565,893	△3,565,893	—
計	3,475,574	31,219,815	△3,565,893	27,653,921
セグメント利益又は損失(△)	5,271	812,003	△384,099	427,904

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに帰属しない事業セグメントであり、物流事業、フレッシュ・ベーカリー事業、店舗総合サービス事業、レストラン事業を含んでおります。なお、第1四半期連結累計期間より、レストラン事業を主とする「㈱ハーツグラントフードサービス」を新たに連結の範囲に含めており、「その他」の区分にレストラン事業を含めております。

- セグメント利益又は損失(△)の調整額△384,099千円には、セグメント間取引消去358,260千円、各報告セグメントには配分していない全社費用△742,359千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社である当社管理部門に係る費用であります。
- セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象  
該当事項はありません。